

教育研究所だより

No.219 令和2年7月1日 【発行者】守山市教育研究所 所長 西川 典子
守山市勝部三丁目9番1号(守山市生涯学習・教育支援センター 愛称:エルセンター 3・4階)
TEL:077-583-4217 FAX:077-583-4237
E-mail:kyoikukenkyu@city.moriyama.lg.jp
HP:http://www.city.moriyama.lg.jp/kyoikukenkyu_index.html

新型コロナウイルス禍における学校教育の推進

守山市教育長 田代 弥三平

社会全体が、いまだ不明な点が多く、終息の見通しが立たない新型コロナウイルス感染症と長期にわたって共生していかなければならない状況にあって、学校においては、「3つの密(密集、密閉、密接)」の回避、マスクの着用、手洗いの励行、換気、身体的距離の確保などの基本的な感染対策を続けていく「新しい生活様式」を実践し、感染および拡大の危険性を減らしながら教育活動を継続することで、子どもたちの健やかな学びを保障していかなければならないと考えています。それとともに、子どもたちには、新型コロナウイルス感染症に関する学習で得た知識を実践に移して、自らが感染予防を確実にを行うことで、感染症から自分や周りの人たちを守ることへの意識を高め、感染のリスクを避ける行動をとることができる力を備えて欲しいと願っています。

《 学校における「新しい生活様式」の実践 》

- 登下校時や学校内ではマスクをする ※暑さにより息苦しくなる場合はマスクを外す
- 手洗いや手指の消毒をする(外からの入室時、トイレの後、給食の前後、共用用具の使用時等)
- 窓を広く開けて常時換気をする
- 人との間隔をとるようにし、会話するときは真正面を避ける
- 教室の机を前向き(黒板向き)にして隣の席と離す 等

《 授業時数の確保 》

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のために、長期にわたる臨時休校の措置をとりましたが、これにより生じた授業時間の不足を補う必要があることから、今年度の夏休みを8月1日(土)から8月16日(日)までに短縮し、子どもたちの学びの保障を図ります。特に、中学校3年生は、受験も控えていることから、学び残しによる不利益が生じないよう学習機会の保障に努めます。

《 ICTを活用した学習の推進 》

長期間の休校を余儀なくされたことにより、ICTを活用した学校と各家庭をつなぐ双方向のオンライン学習が注目されています。本市としても、早急に情報機器の整備を行い、今後の可能性が懸念される新型コロナウイルス感染症の第2波、第3波に備え、オンラインによる学習が円滑に進むよう取り組みます。本来、子どもたちは、仲間や教員をはじめとする大人と触れあうことにより、様々な学びを重ねて成長していきませんが、直接的な触れあいではできなくても、オンライン学習の中で、各自の考えや意見を交流しあい、グループや集団で学びあえる普段の教室での授業に近い学習ができるよう、教員の研修を進めていきます。

《 心のケアと人権教育の推進 》

感染への不安や恐れを感じるなど、心理的なストレスを抱えている子どもたちには、学級担任や養護教諭を中心とした健康相談等により、状況の的確な把握とスクールカウンセラー等による支援も行い、適切に対応していきます。また、このコロナ禍において、感染症に苦しむ人々への心ない言動などは決して許されるものではありません。子どもたちには、思いやりの心、支え合いの心を一層育み、人権を尊重する心の育成に努めます。

所長あいさつ

守山市教育研究所長 西川 典子

教育現場が新型コロナウイルスの影響で今まで経験したことがないような状況に陥り、「当たり前」に思っていた「子どもたちとの授業」「子どもたちとの他愛もない会話」等ができなくなり、この「当たり前」に今まで教員としてどれだけ励まされ元気づけられたことかと、思い直した数か月でした。

6月に入り学校園が徐々に再開され、守山市教育研究所の適応指導教室も再開しました。子どもたちと職員は、再会に喜び合い久しぶりの会話に花を咲かせました。また研究所の研究・研修、教育相談も例年通りの活動が困難となりましたが、開催時期や開催方法等、検討に検討を重ね、研修では動画配信での対応、教育相談では3密を避け相談室の空間を広く取りながら、相談活動を継続し相談者の思いを傾聴しました。今まで積み重ねてきたことが、外的な要因で簡単に崩れてしまうということを痛感した数か月でした。

そして今、教育研究所として学校園を支えるために何ができるか、自らを問い直し、教育に携わる私たちが強い信念と情熱をもってこれまでの事業の在り方を検証しながら、今一度子どもたちの幸せとよりよい成長を願い、このような時だからこそできることを守山の教職員の皆さんと共に見直し、機知に富んだ教育をめざし活動していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。



初任者研修

令和2年6月16日(火)、第2回守山市初任者研修を行いました。

今回の研修のねらいは、守山市の教育関連施設について学び、地域への理解を深めること、特別支援教育の視点を大切にされた授業づくりについて学び、児童生徒への理解や実践力を高めることです。



午前の研修では、木の温もりが心地よい守山市立図書館内を見学させていただいた後、松本孝子館長より「豊かな人間性を育む読書活動について」ご講話をいただきました。館長お薦めの本の読み聞かせを通して、読書活動の尊さを改めて実感した研修となりました。また、地域総合センターでは、佐野亘係長よりセンターの役割や事業内容等についてご講話をいただき、一人ひとりが



正しい人権感覚をもつことの重要性を学びました。

午後の研修では、滋賀県総合教育センター甲津千秋係長より、特別支援教育の視点から「子ども理解と授業改善」についてご講義をいただきました。児童生徒のもっている力に目を向け、それを伸ばしていくことの大切さ、教室環境の整備の仕方や授業の組み立て方の工夫等、学級や授業で活かすことができる取組について教えていただきました。



児童生徒の実りある学びにつながる、有意義な研修となりました。

教育相談

不登校や子育て等に不安を抱える保護者や児童生徒対象に、電話および面接による相談を行い、必要に応じて他機関とも連携を図り適切な対応に努めます。また定期的な学校訪問により、児童生徒の観察や見立てを行います。

適応指導教室

不登校をはじめ、学校不適応の児童生徒を対象に、適応指導および教育相談を実施することにより、学校生活への復帰や社会的自立に向けて支援します。また学校や他機関との連携や保護者への支援も行います。

教育研究所よりお知らせ

- 令和2年度の夏季研修講座及び郷土守山に学ぶ研修講座については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、本年度はホームページ上で実施または中止します。
- もーりーまなびのチャンネル(守山市学びの動画配信)の学習動画の作成に協力しました。



教育研究所の職員紹介

所長 西川 典子 係長 中道 裕恵
主事 野口 勝利 研究員 天沼 翔太
小学校英語教育推進員 浦谷 昌章
指導員 御厨 摩弥 相談員 中川 恵
相談員 井田 智弥華
どうぞよろしくお願いたします。

